

第1章 計画の概要

第1節 計画策定の背景及び目標

これまで本市では「黒石市児童育成計画・母子保健計画」を策定し、子どもの健全な育成や子育て支援体制の整備、子どもと家族が健やかに暮らすことのできる環境づくりなどに取り組んできました。

しかし平成15年7月、国は次代を担う子どもが健やかに生まれ、育成される社会の形成に資することを目的とした「次世代育成支援対策推進法」を制定し、地方公共団体は平成17年3月末までに、次世代育成支援対策推進のための行動計画を策定することを義務づけしました。

これを受けて本市では、国の策定指針を踏まえながら、「黒石市児童育成計画・母子保健計画」を新たな視点に立って改正することとし、「黒石市新長期総合プラン」、昨年度策定した「黒石市地域福祉計画」と整合性を取りながら、「ふれあいのある心豊かな地域社会で、子どもが思いやりとたくましさを身につけ、すくすくと育つまち」を目標に策定することとしました。

第2節 計画の位置づけ

この計画は、おおむね18歳未満のすべての子どもとその家庭、行政、地域、事業者などすべての者を対象としており、今後の本市の少子化対策、子育て支援、母子保健に関する施策を推進するための指針となるもので、次世代育成支援対策推進法第8条に規定される「次世代育成支援行動計画」として位置づけます。

第3節 計画の期間

この計画は、平成17年度から平成21年度までの5年間を第1期として策定しますが、2期目（平成22年度から平成26年度）は第1期目の状況を把握・検討して新たに策定します。

第4節 関連する他の計画

黒石市新長期総合プラン（基本構想・基本計画）	平成13年3月策定
黒石市地域福祉計画	平成16年3月策定
黒石市児童育成計画・母子保健計画	平成14年8月策定
健康くろいし21	平成15年5月策定

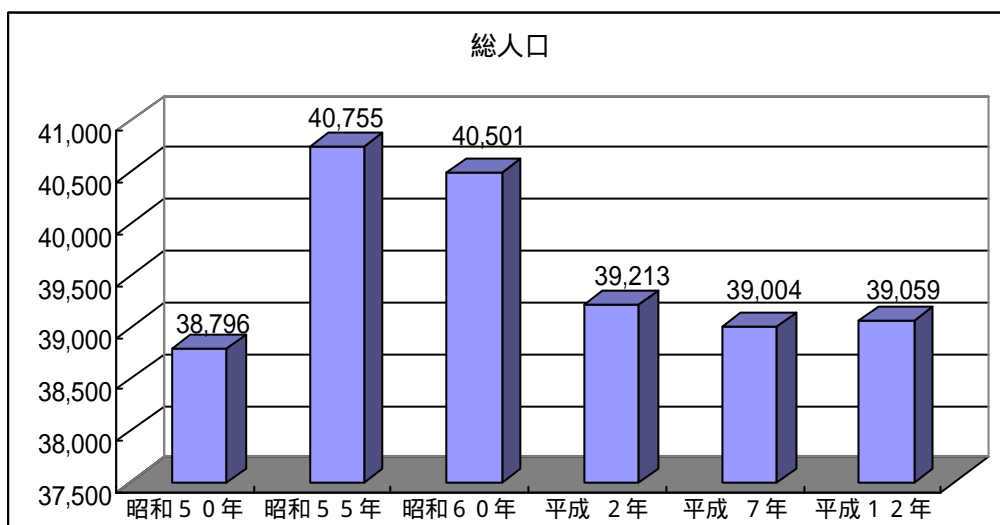
第2章 子どもと家庭、地域を取り巻く状況

第1節 少子化の動向

(1) 人口の推移

本市の総人口は、昭和30年の39,452人から、昭和35年の41,033人をピークに、昭和50年には38,796人と漸減し続け、昭和55年に微増したものの、昭和60年から再び減少傾向に歯止めがかからず、平成12年の国勢調査では39,059人で3万9千人台を確保しています。

《 図1 黒石市の総人口の推移 》

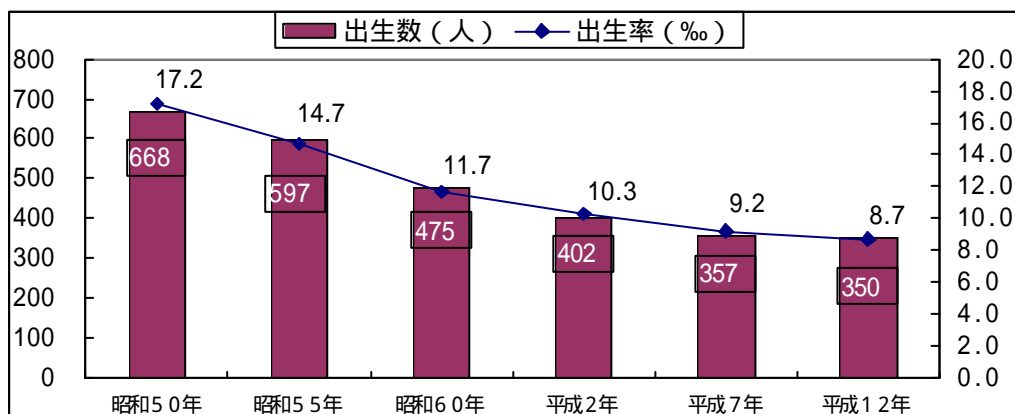


【資料：国勢調査】(単位 人)

(2) 出生の動向

本市の出生数は、昭和50年の668人から年々減少し続け、平成12年には350人まで減少し、この25年間で約半数近くまで減少しました。一方、出生率(人口1,000人に対する割合)は、昭和50年には17.2‰であったものが、平成12年には8.7‰まで下がっています。

《 図2 黒石市の出生数と出生率の推移 》



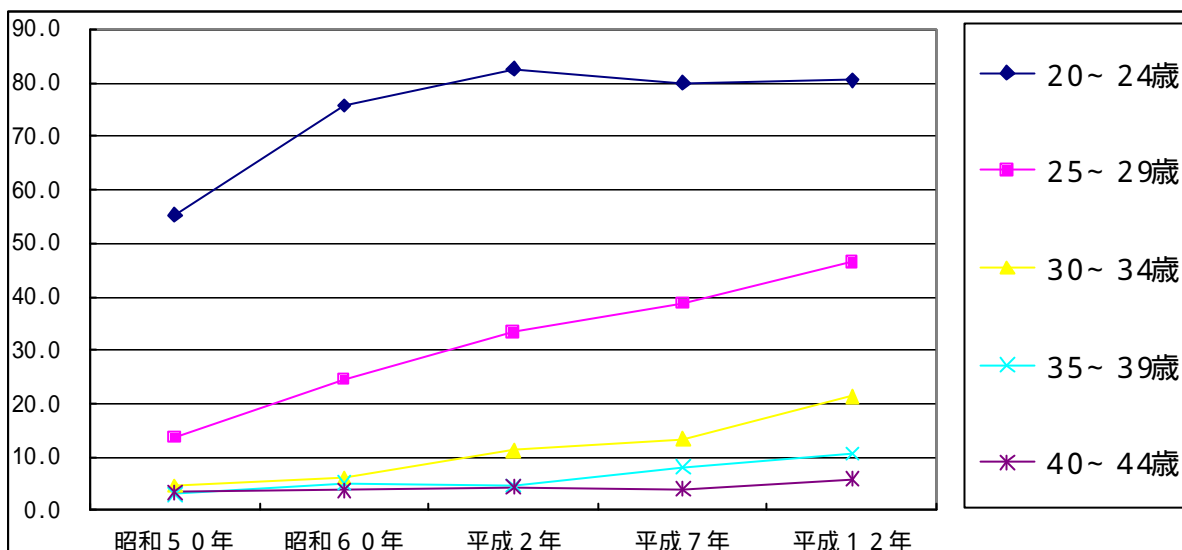
【資料：国勢調査】(単位 人 ‰)

(3) 婚姻の動向

年齢別男女別未婚率の推移

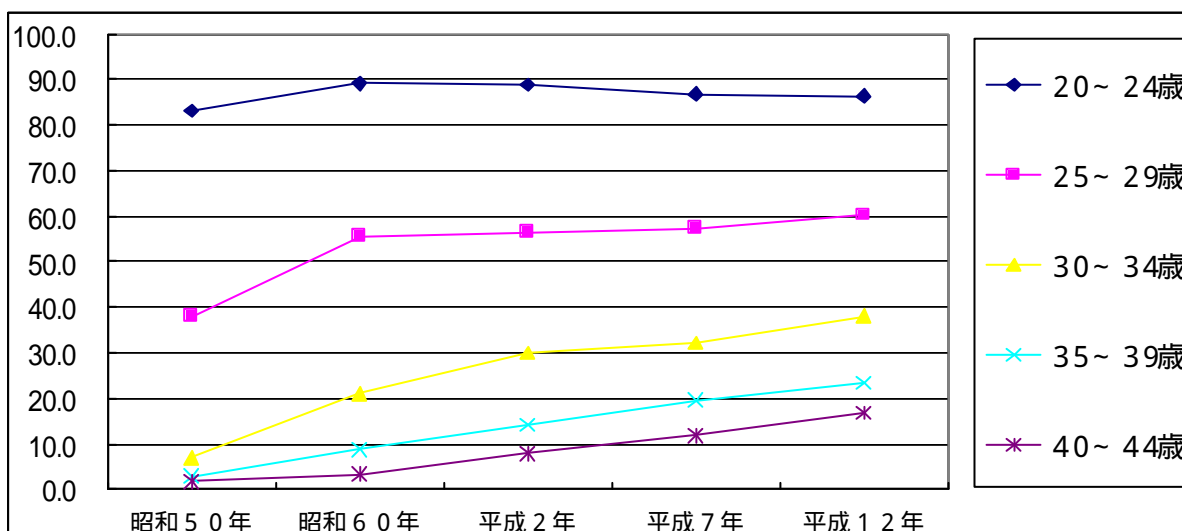
本市の未婚率は、男女とも未婚者が上昇していますが、男性では25歳以上、女性では20歳以上の各年齢層とも年々上昇しています。特に、女性の25～29歳と男性の30～34歳の未婚率が高くなっています。

《 図3 黒石市の女性の未婚率の推移 》



【資料：黒石市の統計 平成15年】(単位 %)

《 図4 黒石市の男性の未婚率の推移 》

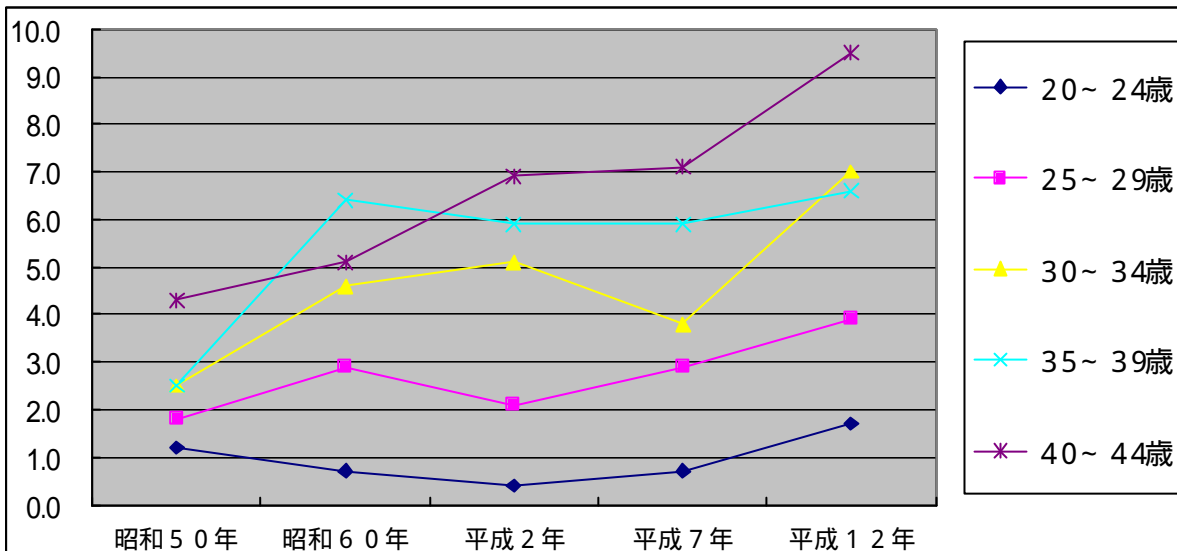


【資料：黒石市の統計 平成15年】(単位 %)

年齢別男女別離婚率の推移

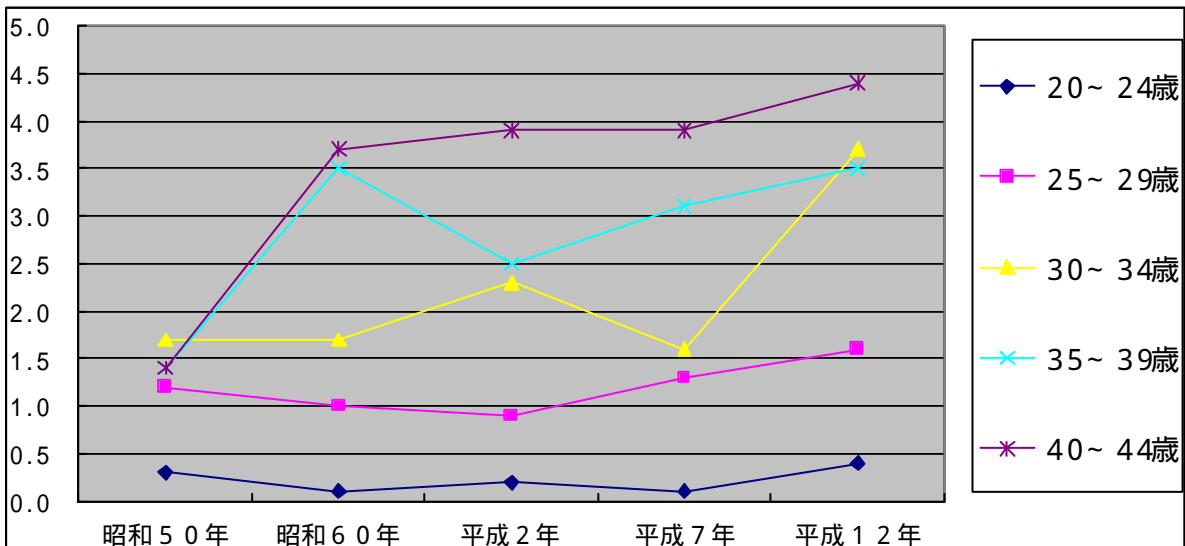
本市の離婚率は、男女・各年齢層とも年々増加しています。この中で、女性は40～44歳の昭和50年に対し平成12年が5.2%の増加。また、30～34歳が4.5%増加しています。一方男性は、40～44歳が昭和50年に対し平成12年が3%増加し、35～39歳が2.1%増加しました。

《 図5 黒石市の女性の離婚率の推移 》



【資料：黒石市の統計 平成15年】 (単位%)

《 図6 黒石市の男性の離婚率の推移 》

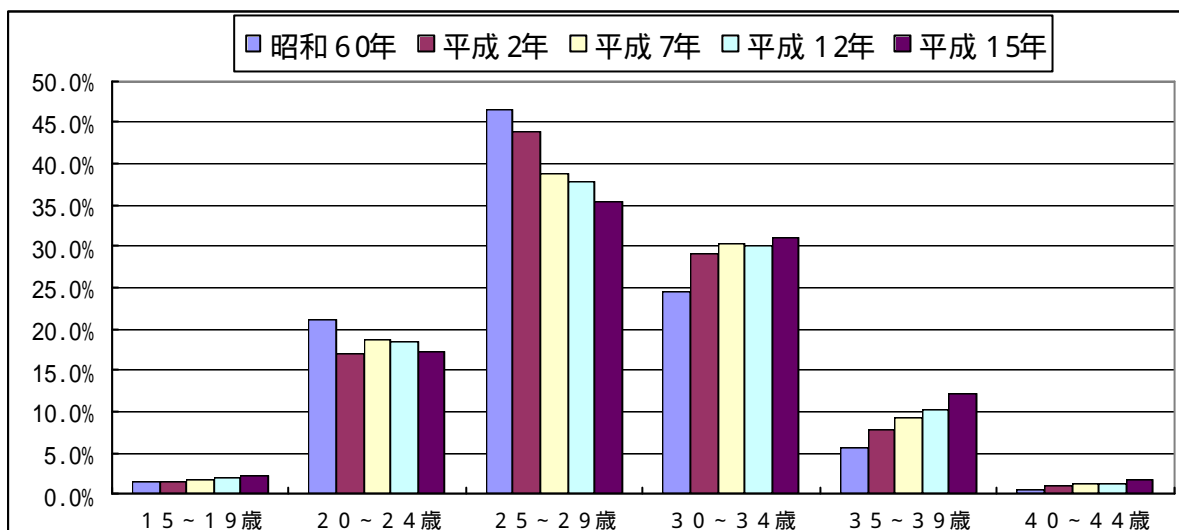


【資料：黒石市の統計 平成15年】 (単位%)

(4) 晩産化の動向

青森県の出生数の年齢別割合は、25～29歳が一番多くなっていますが、20～24歳とともに減少しています。逆に15～19歳と40～44歳が微増し、30～39歳が増加しています。

《 図7 県内女性の年齢別年度別出生数の割合 》

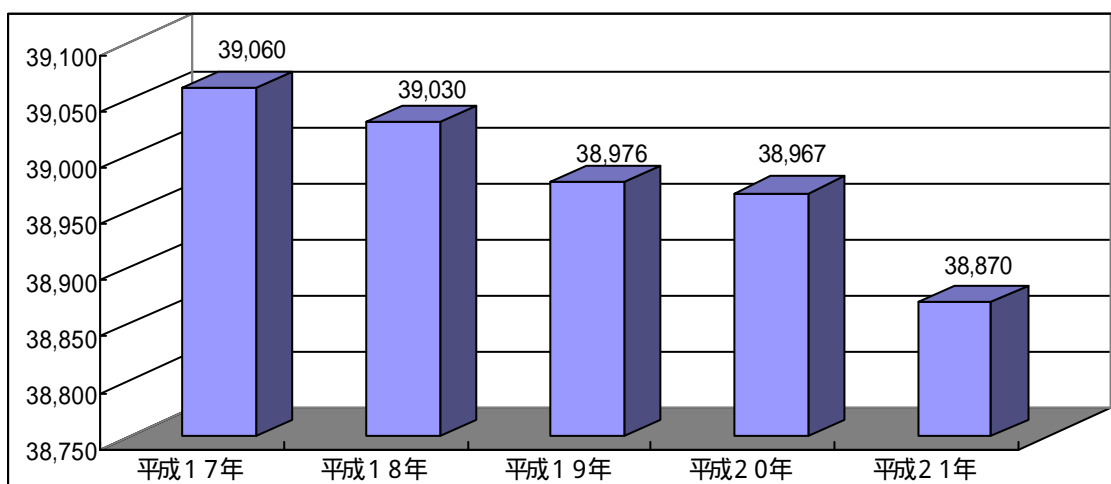


【資料：青森県人口動態統計 平成15年】

(5) 人口・児童数の将来予測

本市の総人口は、国勢調査を基にしたコンホート要因法によると年々減少し、平成21年には38,870人にまで減少するものと推計されています。この内、0歳～4歳までの子どもと小学5年生～6年生はわずかに減少し、5歳～小学4年生は増加するものと推計されています。

《 図8 黒石市の将来人口推計 》



【資料：平成12年国勢調査からコンホート要因法により推計】(単位 人)

《 表1 黒石市の子どもの年齢別将来推計 》

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
平成17年	361人	413人	424人	449人	432人	386人	2,465人
平成18年	362人	415人	421人	450人	432人	389人	2,469人
平成19年	360人	412人	417人	446人	428人	394人	2,457人
平成20年	356人	408人	415人	443人	425人	400人	2,447人
平成21年	352人	404人	411人	439人	421人	404人	2,431人
	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	合 計
平成17年	423人	395人	427人	418人	410人	424人	2,497人
平成18年	423人	397人	426人	419人	406人	421人	2,492人
平成19年	428人	402人	432人	424人	405人	419人	2,510人
平成20年	434人	408人	437人	430人	404人	418人	2,531人
平成21年	439人	412人	441人	435人	401人	415人	2,543人

【資料：平成12年国勢調査からコンホート要因法により推計】

第2節 家族や地域の状況

(1) 一般世帯の動向

本市の世帯数は昭和60年には10,448世帯であったものが、平成12年には1,175世帯増の11,623世帯にまで増加しました。この内、1人世帯～3人世帯は合わせて2,015世帯(30%)増加しましたが、この内1人世帯が877世帯(43.1%)増加しました。一方4人以上の世帯は合わせて840世帯(17.1%)減少しています。

《 表2 黒石市の世帯数の推移 》

	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
一般世帯数	10,448	10,681	11,059	11,623
1人世帯	1,156	1,412	1,624	2,033
2人世帯	1,685	1,965	2,259	2,555
3人世帯	1,853	1,988	2,114	2,121
4人世帯	2,226	2,107	2,041	2,047
5人世帯	1,594	1,365	1,279	1,231
6人世帯	1,077	1,079	1,036	976
7人世帯	629	571	542	489
8人世帯	168	155	132	135
9人世帯	51	32	25	27
10人以上	9	7	7	9

【資料：国勢調査】(単位 世帯数)

(2) ひとり親家庭の状況

ひとり親家庭の中の父母数は、平成9年の416人から平成15年の513人と6年間で97人(18.9%)増加しています。この内、母親数は373人から466人と6年間で93人(20.0%)増加し、父親数は増減しています。

一方、児童数は平成9年の610人から平成15年の859人と6年間で249人(29.0%)増加しています。この内、母子家庭の児童数は546人から787人と6年間で241人(30.6%)増加し、父子家庭の児童数は64人から72人と6年間で8人(11.1%)増加しています。

《 表3 黒石市のひとり親家庭の登録者数の推移 》

		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年
母子家庭	母親数	373人	367人	359人	394人	409人	446人	466人
	児童数	546人	535人	529人	587人	581人	656人	787人
父子家庭	父親数	43人	50人	36人	35人	36人	40人	47人
	児童数	64人	71人	52人	54人	52人	65人	72人
計	父母数	416人	417人	395人	429人	445人	486人	513人
	児童数	610人	606人	581人	641人	633人	721人	859人

【資料：社会福祉の概要 平成16年】

(3) 産業別就業者数

本市の就業者数は、第1次産業が男女とも大幅に減少しているのに対し、第2次第3次産業は増加しています。特に女子の第3次産業は、昭和60年に対して平成12年が1,033人(19.0%)増加し、その中でもサービス業が706人(34.3%)の大幅な増加となっています。

《 表4 黒石市の産業別就業者数の推移 》

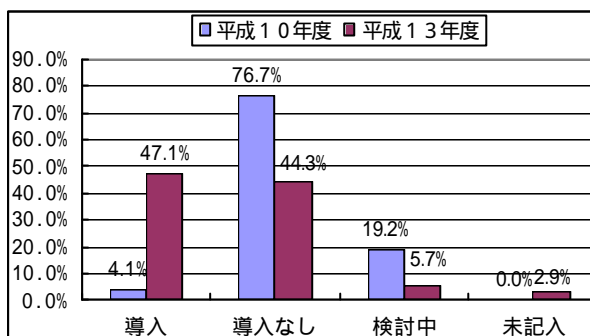
産業別	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
第1次産業	2,906	2,552	2,579	2,360	2,164	1,908	1,916	1,737
農業	2,789	2,523	2,489	2,335	2,093	1,887	1,869	1,722
林業	94	29	79	24	64	21	44	15
水産業	23	-	11	1	7	-	3	-
第2次産業	3,253	1,688	3,459	2,273	3,655	2,172	3,823	2,132
鉱業	39	5	13	5	5	1	25	4
建設業	2,248	297	2,121	234	2,380	309	2,421	273
製造業	966	1,386	1,325	2,034	1,270	1,862	1,377	1,855
第3次産業	5,083	4,390	4,982	4,598	5,145	4,993	5,227	5,423
卸売・小売業	1,830	1,909	1,698	1,910	1,750	2,071	1,710	2,134
金融・保険業	185	191	186	234	158	211	147	213
サービス業	1,751	2,059	1,702	2,191	1,824	2,397	1,894	2,765
公務	434	113	468	123	490	166	502	164
その他	883	118	928	140	923	148	974	147

【資料：国勢調査】(単位 人)

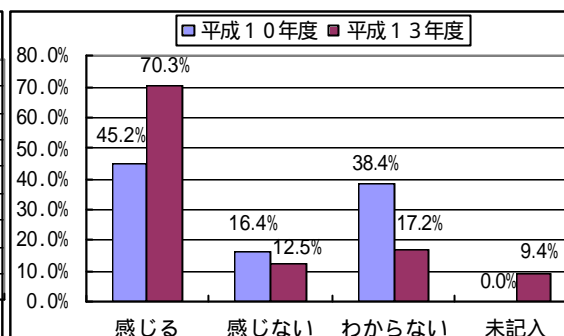
(4) 職場環境の状況

本市が平成13年度に行なった「子育て環境の整備に関する調査」では、育児休業制度を導入しているとした事業所が47.1%で、平成10年度調査の4.1%を大きく上回っています。また、育児休業制度の必要性については「感じている」が70.3%に達する一方で、「感じていない」「わからない」が29.7%となっています。

《 図9 育児・介護休業の導入状況 》



《 図10 育児・介護休業の必要性 》



【資料：黒石市子育て環境に関する調査 平成13年度】(単位 %)

第3節 子どもの状況と子育ての実態

(1) 子どもの状況

乳幼児の朝食の摂り方

本市が平成16年2月に行なった「ニーズ調査」によると、0～5歳の子どもは、朝食を毎日食えるとした割合が82.8%となっています。この内、ひとり親家庭が78.3%と他の家庭よりも一番低くなっています。また、ひとり親家庭の子どもは、朝食を週に1～4回ぬく割合が13.1%に達する他、ほとんど食べない割合も4.3%になっています。

《 表5 子どもの朝食の摂り方 》

	核家族	三世帯	ひとり親	その他	無回答	計
毎日食える	82.8%	86.7%	78.3%	78.5%	45.5%	82.8%
週に1～2回ぬく	7.9%	6.0%	10.9%	8.9%	0.0%	7.5%
週に3～4回ぬく	0.2%	0.6%	2.2%	1.0%	0.0%	0.6%
週に1～2回しか食べない	1.2%	0.4%	0.0%	1.3%	0.0%	0.9%
ほとんど食べない	1.2%	1.2%	4.3%	1.7%	0.0%	1.4%
その他	4.6%	3.0%	4.3%	4.3%	0.0%	3.9%
無回答	2.1%	2.1%	0.0%	4.3%	54.5%	2.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【資料：黒石市次世代育成支援行動計画ニーズ調査 平成16年2月】

乳幼児の就寝時間

0～5歳の子どもの就寝時間については、午後9時が43.0%で一番多く、次いで午後10時が36.8%、午後8時が9.6%の順となっています。この内、ひとり親家庭の子どもは、午後6時～8時に寝る割合が一番低く、2.2%となっています。また、ひとり親家庭の子どもは、午後11時～12時に寝る割合が他の家庭より多く8.7%となっています。

《 表6 子どもの就寝時間 》

	核家族	三世代	ひとり親	その他	無回答	計
午後6時	0.4%	0.6%	0.0%	0.3%	0.0%	0.4%
午後7時	1.0%	1.2%	2.2%	1.0%	0.0%	1.1%
午後8時	8.9%	11.8%	0.0%	8.6%	9.1%	9.6%
午後9時	44.9%	44.2%	47.8%	37.6%	36.4%	43.0%
午後10時	35.4%	35.5%	41.3%	41.6%	0.0%	36.8%
午後11時	7.2%	5.2%	6.5%	6.9%	0.0%	6.3%
午後12時	0.6%	0.4%	2.2%	0.3%	0.0%	0.5%
無回答	1.6%	1.1%	0.0%	3.7%	54.5%	2.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【資料：黒石市次世代育成支援行動計画ニーズ調査 平成16年2月】

乳幼児の起床時間

0～5歳の子どもの起床時間は、午前7時が一番多く54.3%、次いで午前7時が27.1%、午前8時が11.3%の順になっています。

《 表7 子どもの起床時間 》

	核家族	三世代	ひとり親	その他	無回答	計
午前5時	1.6%	1.0%	0.0%	1.7%	0.0%	1.0%
午前6時	28.8%	27.9%	34.8%	22.1%	27.3%	27.1%
午前7時	52.2%	57.8%	50.0%	53.8%	18.2%	54.3%
午前8時	12.4%	8.2%	8.7%	15.5%	0.0%	11.3%
午前9時	2.5%	1.8%	4.3%	2.0%	0.0%	2.2%
午前10時	0.6%	0.8%	0.0%	0.3%	0.0%	0.6%
その他・無回答	1.9%	2.5%	2.2%	4.6%	54.5%	3.5%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

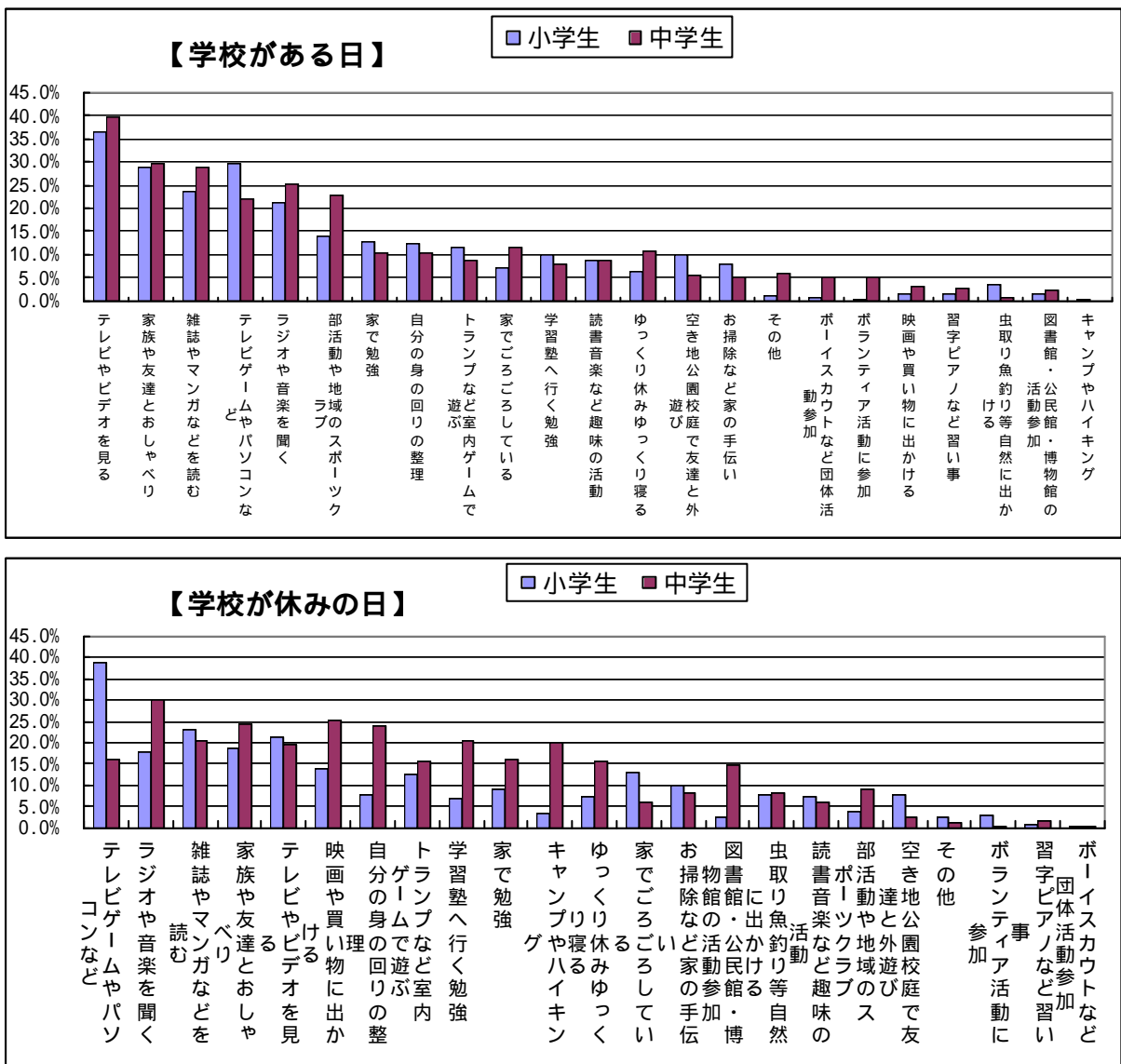
【資料：黒石市次世代育成支援行動計画ニーズ調査 平成16年2月】

小・中学生の自由な時間の過ごし方

本市が平成13年度に行った「地域の教育力の充実にむけた活動体験に関する児童生徒調査」では、小学生が学校がある日の自由な時間の過ごし方について、「テレビやビデオを見る」が一番多く、次いで「テレビゲームやパソコンなど」、「家族や友達とおしゃべり」の順となっています。中学生では「テレビやビデオを見る」が一番多く、次いで「家族や友達とおしゃべり」、「雑誌やマンガを読む」の順となっています。

一方、学校が休みの日には、小学生が「テレビゲームやパソコンなど」、「雑誌やマンガを読む」が多いのに対し、中学生は「ラジオや音楽を聞く」、「映画や買い物に出かける」が多くなっています。

《 図11 自由な時間の過ごし方 》



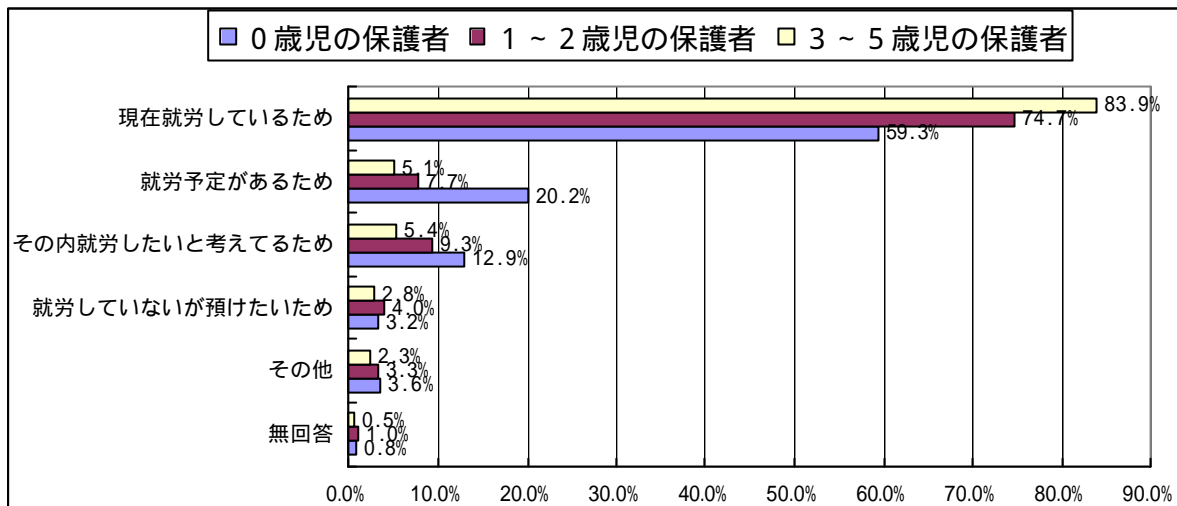
【資料：黒石市地域の教育力の充実にむけた活動体験に関する児童生徒調査平成13年度】

(2) 子育てに関する保護者の意識

子どもの年齢別保育理由

本市が平成16年2月に行った「ニーズ調査」によると、保護者が子どもを保育所等にあずける理由について、「現在就労しているため」が子どもの各年齢とも一番多く、この中でも子どもの年齢が高いほど多くなっています。また、0歳児の保護者は「就労予定があるため」をあげる人が20.2%となっています。

《 図12 子どもの年齢別保育理由 》

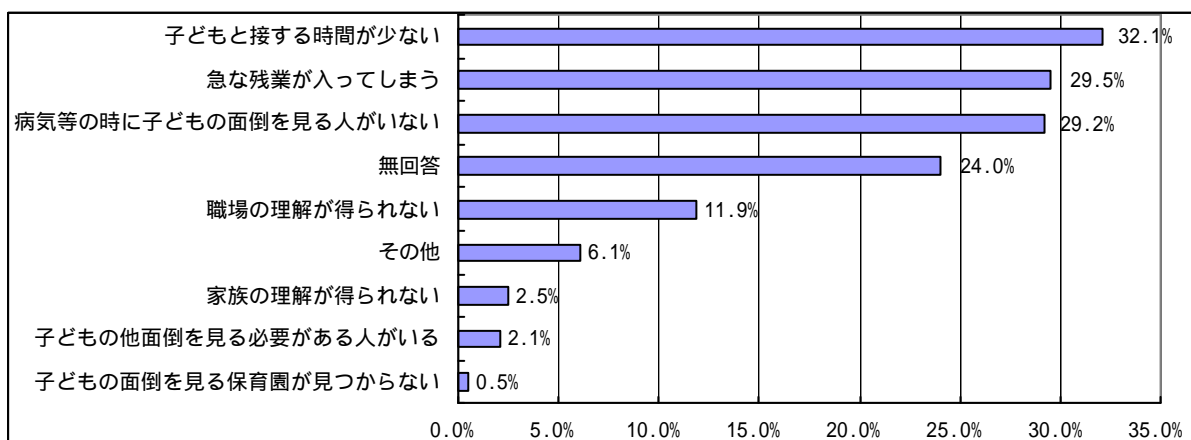


【資料：黒石市次世代育成支援行動計画ニーズ調査 平成16年2月】

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることに対しては、「子どもと接する時間が少ない」が32.1%で最も多く、次いで「急な残業が入ってしまう」の29.5%、「病気等の時に子どもの面倒を見る人がいない」29.2%の順に多くなっています。

《 図13 仕事と子育ての両立で大変なこと 》

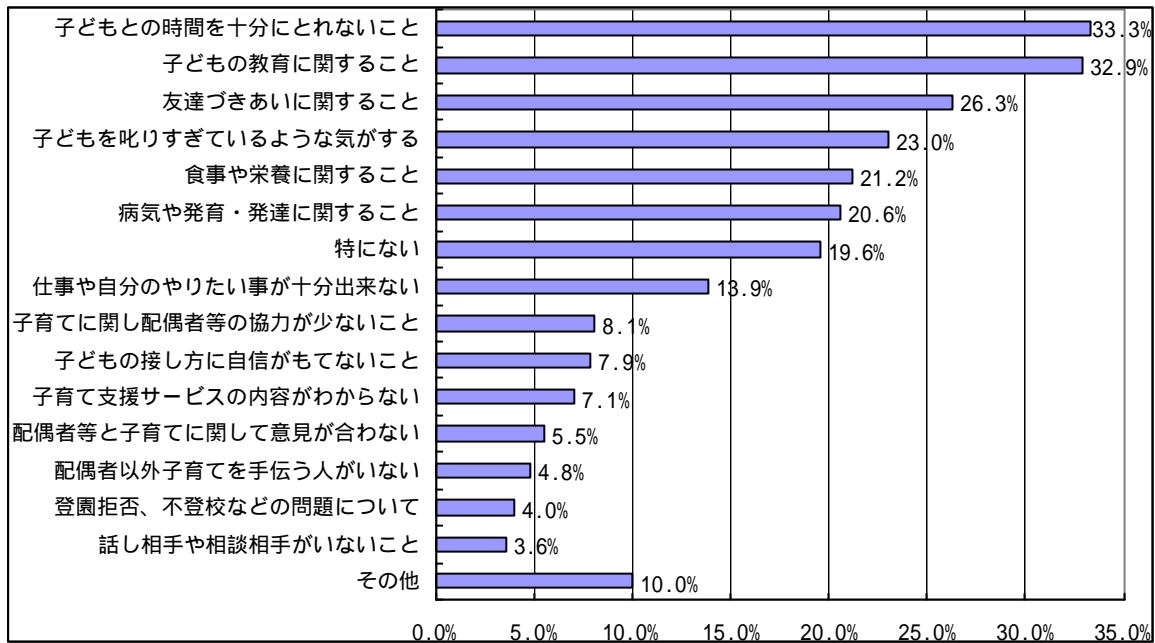


【資料：黒石市次世代育成支援行動計画ニーズ調査 平成16年2月】

(3) 子育てに関する悩みや不安感

子育ての悩みや不安については、「子どもとの時間を十分にとれない」が最も多く33.3%、次いで「子どもの教育に関すること」が32.9%、「友達づきあいに関すること」の順に多くなっています。

《 図14 子育ての悩みや不安感 》

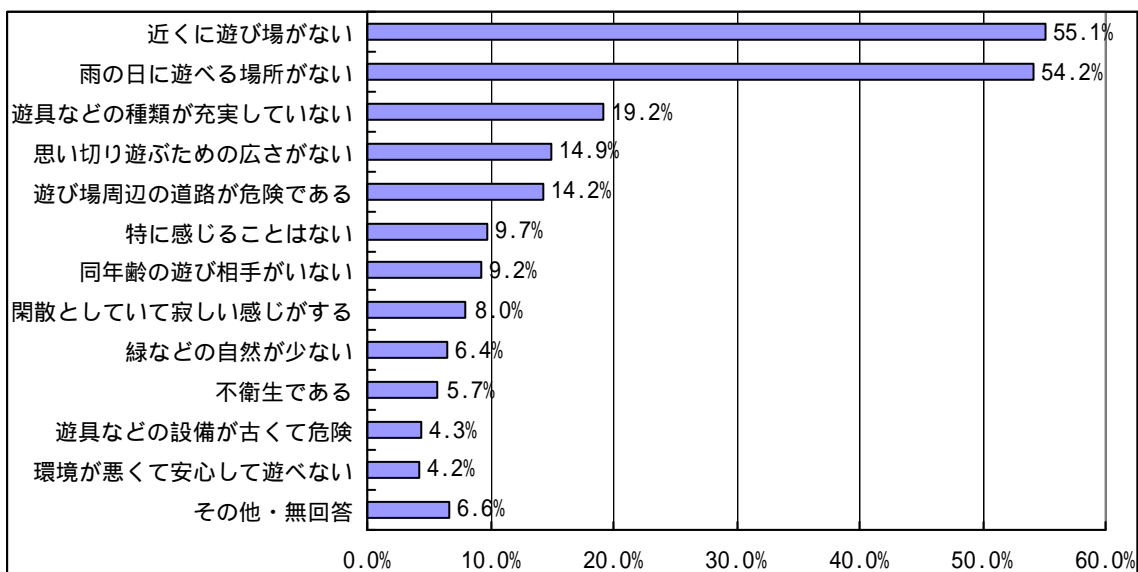


【資料：黒石市次世代育成支援行動計画ニーズ調査 平成16年2月】

(4) 子どもの遊び場について日頃感じていること

遊び場については、「近くに遊び場がない」と「雨の日に遊べる場所がない」が郡を抜いて多く、以下「遊具などの種類が充実していない」「思い切り遊ぶための広さがない」「遊び場周辺の道路が危険である」の順に多く感じています。

《 図15 子どもの遊び場の感じ方 》

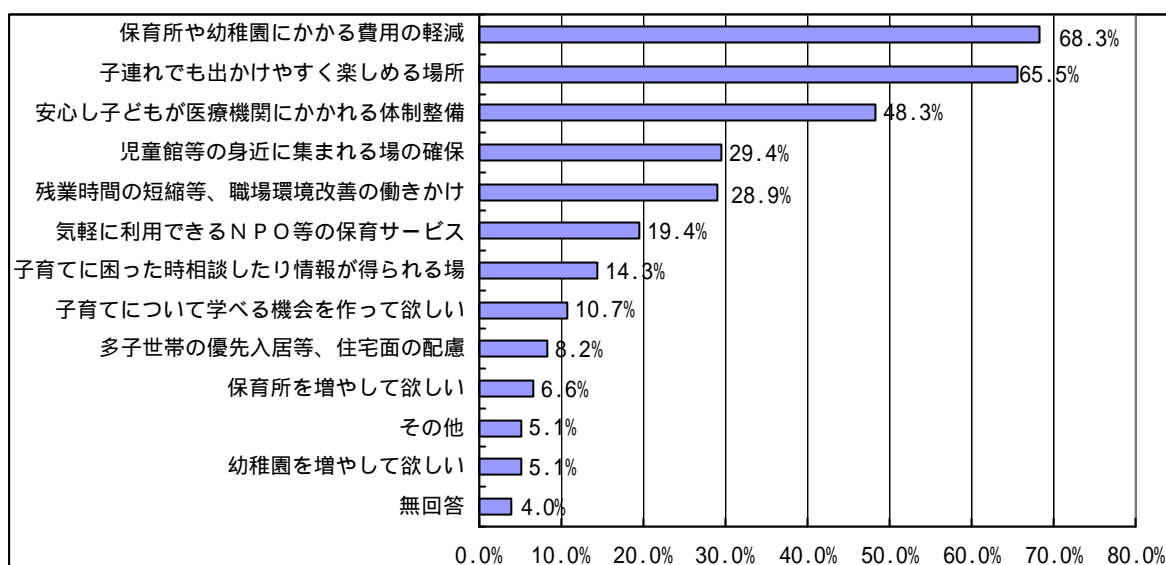


【資料：黒石市次世代育成支援行動計画ニーズ調査 平成16年2月】

(5) 行政が充実を図って欲しい子育て支援

行政に対する要望で一番多いのは、「保育所や幼稚園にかかる費用の軽減」で68.3%、次いで「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」の65.5%、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制整備」の48.3%の順になっています。

《 図16 行政に対する子育て支援要望 》



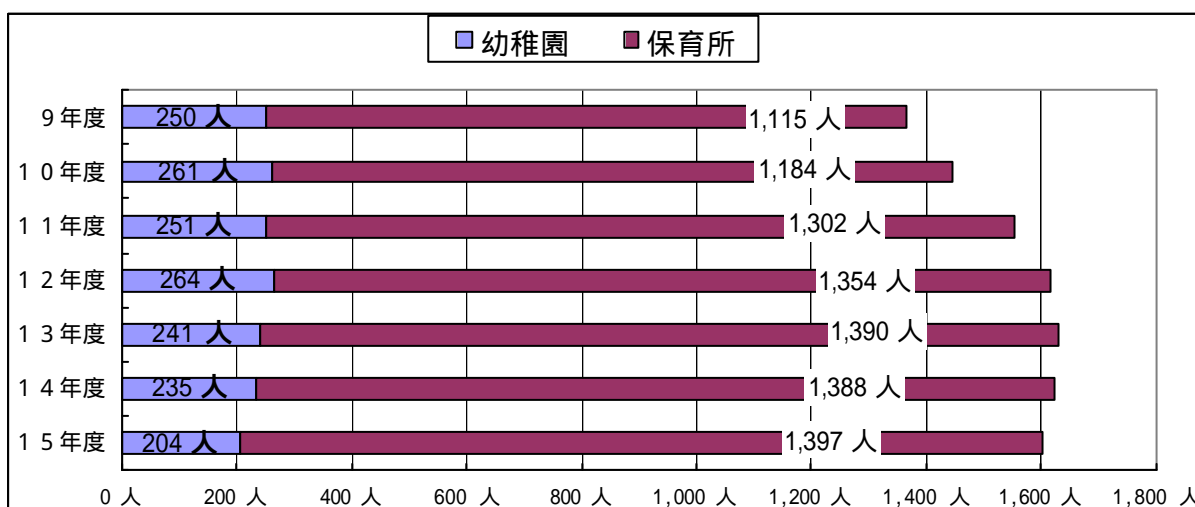
【資料：黒石市次世代育成支援行動計画ニーズ調査 平成16年2月】

第4節 子育て支援サービスの提供と利用の動向

(1) 幼稚園・保育所の入所者状況

市内の幼稚園（3園）の入所者数は、平成12年の264人をピークに年々減少傾向にあります。一方保育所は、平成9年の1,115人から平成13年の1,390人まで伸び続け、平成14年に減少したものの、15年には1,397人にまで増えました。幼稚園・保育所両方では、平成13年が1,631人と最も多くなっています。

《 図17 幼稚園・保育所の入所状況 》



【資料：社会福祉の概要及び学校教育課】

(2) 現在通っている保育園・幼稚園に対する満足度

保育園・幼稚園に対する満足度は、「安全対策」「衛生対策」「食事」の満足度が高くなっています。一方不満が多いのは、「利用者間のネットワークづくり」「保護者への情報伝達」「悩み事などへの相談対応」となっています。

《 表8 保育園・幼稚園に対する満足度 》

項目	大変満足	ほぼ満足	やや不満	大変不満	無回答
施設・環境（園舎・園庭・玩具など）	30.2%	53.8%	12.3%	2.7%	0.9%
職員等の配置状況（人員体制）	28.8%	56.0%	12.6%	2.0%	0.6%
保育内容	31.2%	55.2%	11.1%	1.8%	0.7%
行事（保育参観や運動会など）	30.7%	55.2%	10.9%	2.5%	0.7%
食事	39.1%	44.8%	6.2%	1.1%	8.9%
病気やケガの時の対応	27.8%	57.1%	11.5%	2.6%	0.9%
保護者への情報伝達	24.9%	53.1%	18.5%	2.8%	0.7%
悩み事などへの相談対応	22.5%	57.9%	17.1%	1.7%	0.8%
保護者の要望・意見への対応	20.5%	60.1%	15.6%	2.7%	1.1%
利用者間のネットワークづくり	14.0%	59.4%	21.3%	2.7%	2.6%
安全対策	25.7%	65.4%	7.2%	0.7%	0.9%
衛生対策	28.3%	61.7%	6.5%	1.7%	1.8%

【資料：黒石市次世代育成支援行動計画ニーズ調査 平成16年2月】

(3) 放課後児童クラブの状況（年度別登録者数）

放課後児童クラブは、平成11年にやまがた地区児童クラブと東児童センター児童クラブから始まり、平成14年には学校週5日制に合わせ10地区で実施するようになりました。平成15年度には557人の児童が登録しています。

《 表9 放課後児童クラブの登録者数の推移 》

児童クラブ名	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
やまがた地区児童クラブ	26人	45人	51人	66人	67人
牡丹平地区児童クラブ	-	-	-	55人	53人
浅瀬石地区児童クラブ	-	-	32人	53人	61人
追子野木地区児童クラブ	-	-	-	44人	48人
六郷地区児童クラブ	-	-	-	56人	64人
東児童センター児童クラブ	20人	41人	87人	79人	73人
西部児童館児童クラブ	-	-	-	29人	37人
中部児童館児童クラブ	-	25人	49人	45人	59人
北地区児童センター児童クラブ	-	-	-	53人	58人
上十川児童館児童クラブ	-	-	20人	36人	37人
計	46人	111人	239人	516人	557人

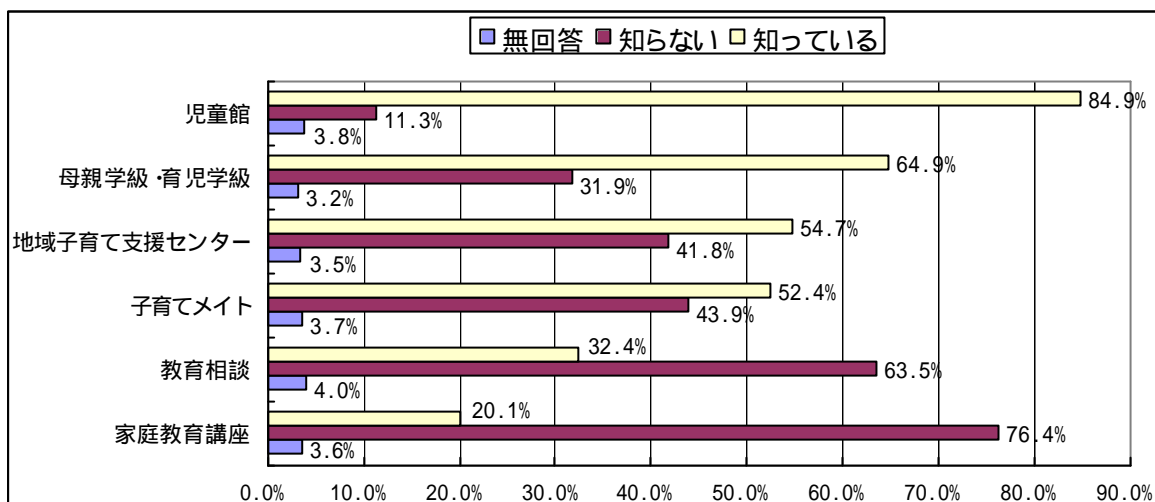
【資料：社会福祉の概要 平成16年】

(4) 子育て支援サービスの認知状況と利用状況及び利用意向

子育て支援サービスの認知状況

子育て支援サービスの中で一番多く知られているのは「児童館」で84.9%、次いで「母親学級・育児学級」で64.9%、「地域子育て支援センター」の54.7%となっています。逆に知られていないのが、「家庭教育講座」「教育相談」となっています。

《 図18 子育て支援サービスの認知状況 》

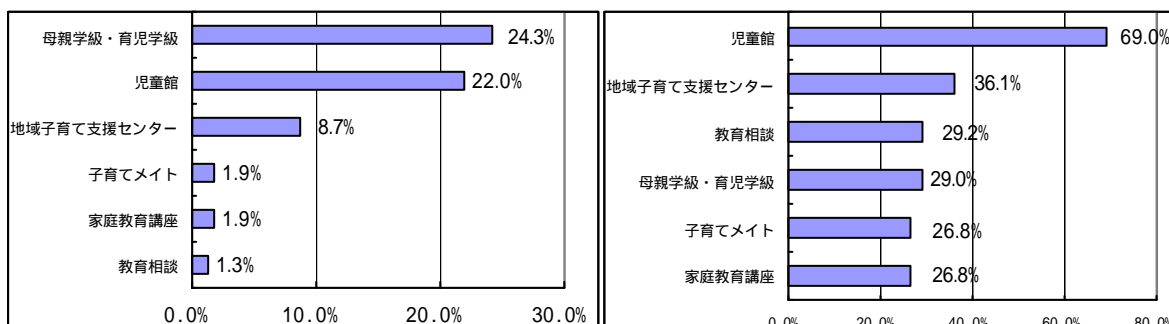


【資料：黒石市次世代育成支援行動計画ニーズ調査 平成16年2月】

子育て支援サービスの利用状況と利用意向

子育て支援サービスの利用で一番多いのは、「母親学級・育児学級」で24.3%、次いで「児童館」の22.0%、「地域子育て支援センター」の8.7%となっています。利用意向では、「児童館」が69.0%で一番多く、次いで「地域子育て支援センター」の36.1%、「教育相談」の29.2%となっています。

《 図19 子育て支援サービスの利用状況 》 《 図20 子育て支援サービスの利用意向 》



【資料：黒石市次世代育成支援行動計画ニーズ調査 平成16年2月】

第3章 計画の基本的な考え方

第1節 子どもの視点

次代を担うのは今の子どもであるという認識のもとに、子どもの幸せを第一に考え、子どもの利益が最大限に尊重されるよう配慮し、子どもの視点に立った取り組みを進めます。

第2節 次世代の親づくりという視点

子どもは将来の親となるものとの認識のもとに、豊かな人間性を形成し、自立して家庭を持つことができるよう、長期的な視野に立った子どもの健全育成のための取り組みを進めます。

第3節 サービス利用者の視点

核家族化や都市化の進行等の社会環境の変化や市民の価値観の多様化に伴い、子育てで家庭の生活実態や子育て支援に係る利用者ニーズも多様化しており、個別のニーズに柔軟に対応できるように、利用者の視点に立った柔軟かつ総合的な取り組みを行います。

第4節 社会全体による支援の視点

本計画は、父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識のもとに、家庭はもとより地域、企業、行政をはじめ社会全体がいろいろな社会資源を活用し、それぞれの役割りを担いながら緊密な連携と協力のもとに取り組みを進めます。

第5節 すべての子どもと家庭への支援の視点

子育てと仕事の両立支援のみならず、子育ての孤立化等の問題を踏まえ、広くすべての子どもと家庭への支援という観点から推進します。

第6節 地域における社会資源の効果的な活用の視点

地域の中には、子育てに関する活動を行う子育てメイト、母親クラブをはじめとするいろいろな地域活動団体や主任児委員等が活動しています。また、高齢者、障害者等に対するサービスを提供している民間事業者等もあるほか、子育て支援等を通じた地域への貢献を希望する高齢者もいます。さらに、豊かな自然環境や地域に受け継が

れた「ねぶた」や「よされ」などの伝統文化等もあることから、こうしたいろいろな地域の社会資源を十分に効果的に活用します。

第7節 サービスの質の視点

利用者が安心してサービスを利用できる環境を整備するためには、サービス提供量を適切に確保するとともに、サービスの質を評価し、向上させていくといった視点から、人材の資質の向上を図るとともに、情報公開やサービス評価などに取り組みます。

第8節 地域特性の視点

中心市街地と農村部の世帯構成や産業構造、社会資源の状況など、いろいろな地域の特性を踏まえて主体的な取り組みを進めます。

第4章 施策の体系

第1節 基本理念

急速な少子化が進行する中で、家庭及び地域を取り巻く環境に変化が生じ、改めて地域の人と人のふれあいを大切にすることが求められています。

明日を担う子どもが、心豊かで健やかに育つことは、将来の本市が発展するために欠かせないものであり、そのためにも子どもを社会全体で支えていくことが求められています。

こうしたことから本市では、「ふれあいのある心豊かな地域社会で、子どもが思いやりとたくましさを身につけ、すくすくと育つまち」を目指し、各種施策を推進します。

第2節 基本目標

本計画の基本理念の実現に向けて、次の6つの基本目標を掲げ、総合的な施策の展開を図ります。

(1) 地域における子育て支援

地域における子育て支援サービスの充実を図るとともに、保育所等の施設において児童及び保護者を支援する各種事業を実施します。また、児童館、公民館等の社会資源や主任児童委員や地域のボランティアを活用し、児童の健全育成に努めます。

(2) 母性・乳幼児・児童の健康確保

保健・医療・福祉や教育分野との連携を図り、地域における母子保健施策の充実を図ります。また、保健協力員や食生活改善推進員と協力して地域に根ざした住民活動との連携を図り、母性、乳幼児、児童の健康の確保と増進を図ります。

(3) 子どもの教育環境の整備

子どもは次代の親という視点に立って、子どもが人間として総合的に成長するよう幼児教育の充実に努めるとともに、家庭・学校・地域が連携して本来持っている教育力の活性化を図ります。また、学校教育の充実を図り、生涯に渡って自己を向上させる意欲を育みます。さらに、現在の子どもに不足しがちな自然体験や社会体験、生活体験を地域の教育資源を活用しながら推進します。

(4) 生活環境の整備と安全の確保

子どもを安心して産み育てるためには、安全で安心な生活環境の整備が必要なことから、生活に直結する道路や交通安全施設の整備、公共施設などのバリアフリー化や公園等の整備を進めます。

また、子どもの交通安全を確保するために、総合的な事故防止対策を推進していくとともに、子どもを犯罪被害から守るための活動を、PTA等の学校関係者や関係機関と協力して行います。

(5) 職業生活と家庭生活との両立の推進

男性を含めた働き方の見直しや多様な働き方が実現できるよう努めていくとともに、仕事と子育ての両立を目指します。

(6) 要保護児童への対応

虐待については発生予防からきめ細く総合的な支援を講じるとともに、関係機関と協力して虐待防止に努めます。また、母子家庭等が増加していることから、子育て支援や経済的支援について適切に実施します。障害児に対しては、早期発見・早期治療の推進を図るとともに、福祉サービスや医学療法、教育支援を実施します。

第3節 体系図

【基本理念】

【施策の目標】

【重点施策】

